



中央大学ホームカミングデー — ホームは暖かい —

毎年、秋の恒例行事となっているホームカミングデー。近頃では数多くの大学が積極的に取り組んでいるようだ。中央大学は、回を重ねて今年で26回を数える。

中央大学ホームカミングデーのはじまり

第1回ホームカミングデーは、1990年11月18日「学員と母校との絆を深め、学員相互のヒューマンネットワークを広げること」を目的として多摩キャンパスで開催された。

招待者は、卒業後25年目にあたる1965年卒業の学員と、卒業後50年目にあたる1940年以前の学員で、家族を含めて前者が約600人、後者は約300人が多摩に集い、全参加者1200人の大半を占めたという。

今年も大学は卒業50年目と25年目の学員に案内状を送るが、近年は全ての学員を対象にさまざまなイベントが企画されている。

50年前の中央大学

さて、2017年から遡って50年前の卒業生と言えば、1967年3月の卒業ということになる。当時、法・経済・商・文の文系4学部のキャンパスはJR中央線御茶ノ水駅からほど近い駿河台にあり、理工学部は後楽園（現在地）にキャンパスを構えていた。

卒業の2年前、1965年は中央大学創立80年の節目の年にあっていた。大学は創立80周年記念事業の一環として駿河台校舎の増築や図書館の新設を進め、学生会館（小川町校舎）の建設もその一つであった。この学生会館は1966年6月30日に完成するが、前年からその管理運営をめぐる大学当局・教授会と学生との間で事態が紛糾していた。

完成後の同年11月に学生側は学生会館の単独自主管理方式を強く要求し、全学中央闘争委員会（全中闘）を組織して12月8日創立来初めてのバリケードによる全学封鎖を行った。

暮れの押し詰まった12月25日大学と学生との間で合意が成立し、翌1967年1月28日学生・教職員・理事1500人の参加のもと入館式が挙行された。その後2月1日から20日にかけて卒業・学期末試験が実施され、3月25日第84回卒業式を迎えた。

学生による学生会館の単独自主管理は「中大方式」として全国的に注目された。だが、大学紛争が激しくなる中で警察による立ち入り捜査も再三にわたり、学生会館は地下売店を除いて学生の施設としてほとんど使用されることなく、1978年の多摩移転に際して売却された。

嘗て中大生が喧騒の中でひしめき合った駿河台の地に校舎はなく、企業の高層ビルがそびえ立つ。50年という時を経て多摩の大地に集う学員諸氏に去来するものは果たして何であろうか。

「ホームは暖かい」というのは、第1回ホームカミングデーに参加した学員の心の声だ。それを胸に今年もまたご来場の皆さまを多摩キャンパスにお迎えしたいと思う。



2008年10月26日開催 第19回中央大学ホームカミングデー
大学史企画展「駿河台から多摩へ」
駿河台校舎模型の上に手をかざすと、駿河台時代の懐かしい風景が次々と浮かび上がり、人々の記憶に語りかけたインタラクティブアート「光と記憶のジオラマ」の1場面



クレセント・アカデミー講座の紹介

クレセント・アカデミーは、中央大学のオープンカレッジとして1986年12月に開設され、学生と市民の共学の場として多摩キャンパスと駿河台記念館で約70の講座を開講しています。

冬期に実施する講座も多数あります。見学も承っておりますので、新年度からのスタートに少し先駆けて新しい楽しみを初めてみてはいかがでしょうか。

2018年度4月からの新プログラムについては2018年2月末よりパンフレット配布開始および公式Webサイトに掲載予定です。

..... 資料請求・お申し込み・お問い合わせ

中央大学クレセント・アカデミー事務局

Tel: 042-674-2267 (月～金 9:00～17:00)

Fax: 042-674-2268



2017年度 冬期講座 (予定)

- 卓球教室
 - ジュニアバスケットボール教室
 - 60歳からの体力再生健康体操
 - フェンシング教室
 - 呉氏伝統太極拳
 - たのしい太極拳
 - 韓国語講座
 - 東洋養生法
 - 英会話講座
 - イタリア語講座
- など。



ジュニアバスケットボール教室の様子